

政策調整課広域調整G	中川、吉田
内線	2121, 2125
ダイヤル	0742-27-8306
FAX	0742-22-8012

## 平成22年度政府予算案の決定について

本日、平成22年度政府予算案が閣議決定されましたが、そのうち本県に関連する主なものは以下のとおりです。

### 1 「平城遷都1300年祭」(西暦2010年) 関連

- ・平城宮跡等管理 304百万円(事業主体は文化庁)  
「平城宮跡第一次大極殿正殿」完成記念式典開催経費等  
来年4月に開催される予定の「平城宮跡第一次大極殿正殿」の復原完成に伴う記念式典の開催経費予算等が認められた。

### 2 文化遺産の保護及び活用の促進

- ・高松塚古墳壁画の保存・活用の推進 244百万円(事業主体は文化庁)  
昨年度に引き続き、壁画のクリーニング・剥落止め等の保存修理措置等の経費が認められた。
- ・キトラ古墳の保存修理等 178百万円(事業主体は文化庁)  
昨年度に引き続き、石室内の壁画の取り外し、取り外した壁画の保存修理等の経費が認められた。

### 3 明日香村の保全・整備対策

- ・明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金 150百万円  
明日香村の歴史的風土の創造的活用により、明日香村が行う事業に対しての交付金について、40百万円増額の150百万円が認められた。

### 4 国直轄ダム事業

- ・大滝ダム建設事業  
引き続き、地すべり対策工事等の継続が認められた。  
なお、予算額については、年末に公表される予定である。

### 5 補助ダム事業

- ・大門ダム  
引き続き、事業継続が認められた。  
なお、予算額については、年度末の実施計画確定後に公表される予定である。

※各個別項目のお問い合わせは、別添個別資料の問い合わせ先をお願いします。

平成22年度各省庁予算額状況

H21.12.25現在  
(単位：百万円)

項目	国			県		21当初予算 A	概算要求額 B	22政府予算案 C
	所管省庁	局名	担当課名	部局名	担当課名			
「平城遷都1300年祭」関連 (国直轄事業) ・平城宮跡等管理 「平城宮跡第一次大極殿正殿」 完成記念式典開催経費等	文化庁	文化財部	記念物課	平城遷都1300年 記念事業協会		103	305	<b>304</b>
文化遺産の保護及び活用の促進 (国直轄事業) ・高松塚古墳壁画保存・活用の推進 ・キトラ古墳保存修理等	文化庁	文化財部	古墳壁画室	教育委員会	文化財保存課	246	246	<b>244</b>
	文化庁	文化財部	古墳壁画室 記念物課	教育委員会	文化財保存課	215	190	<b>178</b>
明日香の保全・整備対策 ・歴史的風土創造的活用事業交付金	国土交通省	都市・地域整備局	公園緑地・景観課	地域振興部	地域づくり支援課	110	150	<b>150</b>
国直轄ダム事業 (国直轄事業) ・大滝ダム建設事業費	国土交通省	河川局	治水課外	土木部 地域振興部	河川課 資源調整課	5,254		年末 公表予定
補助ダム事業 ・大門ダム		河川局	治水課外	土木部	河川課	380		年度末 公表予定

注：国直轄道路事業については、1月末を目途に公表される予定



No.	2	報 道 資 料
<p>(項目)</p> <p><b>国宝高松塚古墳壁画保存修理の推進については要求額246百万円のうち244百万円が、キトラ古墳保存修理については190百万円のうち178百万円が認められた。</b></p>		
<p>(概要)</p> <p>○ 高松塚古墳壁画保存・活用の推進 244百万円  高松塚古墳は、我が国で初めて極彩色の壁画が発見された古墳で、石室内部に星宿図、日月像、四神図及び人物群像等が描かれている。  当初は、壁画の現地保存を基本方針として、石室内部の環境を維持しつつ、壁画の劣化の進行及びカビの発生を極力抑制するため、修理点検等の措置を講じてきた。  しかしながら、平成13年頃から石室内に大量のカビが発生し、さらに、壁画の退色が進行するなどの劣化状況を踏まえ、古墳から石室ごと壁画を取り出し(解体)、平成20年度より仮設修理施設において、壁画及び石材の修理を実施している。  引き続き、国宝高松塚古墳壁画の保存・活用を図るものである。  国宝高松塚古墳壁画の恒久的な保存及び活用を推進するために、  ①壁画のクリーニング・剥落止め等の保存修理措置  ②引き続き、委員会において、壁画の劣化防止のための対策について調査を行うとともに、保存修理方法の検討  ③壁画の修理状況の特別公開 等  を実施する。</p> <p>○ キトラ古墳保存修理等 178百万円  特別史跡キトラ古墳は、東壁に青龍、南壁に朱雀、西壁に白虎、北壁に玄武の四神や四神の下に寅や午などの十二支の獣頭人身像が残っており、かつ、天井には東アジア最古の現存例である天文図が描かれているなど、我が国にとってかけがえのない貴重な文化遺産である。  しかしながら、壁画の損傷が著しく、剥落の危険性も高いこと等から、壁画を取り外し、保存修理を行うなど、キトラ古墳の恒久的な保存対策を行うものである。  特別史跡キトラ古墳の恒久的な保存及び活用を推進するため、  ①石室内の壁画の取り外し、取り外した壁画の保存修理  ②多湿な石室内におけるカビ等の処置  ③保存施設維持管理及び設備の更新経費  ④キトラ古墳の情報を広く公開するための特別公開  ⑤古墳の復旧整備に向けた検討 等  を実施する。</p>		
<p>(知事コメント)</p> <p>文化財は国民全体の財産であり、地元の住民にとっても大きな誇りである。保存にあたっては、今後一層細心の注意を払い万全の体制で取り込まれることを切望する。県としても今後高松塚古墳壁画の特別公開など、国民全体の財産の保存、さらには活用に向けた取り組みを、関係機関と協力しながら実現してまいりたい。</p>		

## 【上記に関する問い合わせ先】

担当者 教育委員会事務局文化財保存課長 石川 幸司

教育委員会事務局文化財保存課課長補佐 米田 康彦(TEL)0742-27-9864

(庁内内線 5332)

&lt;問い合わせは、資料提供後1時間以内にお願ひします。&gt;

No.	3	報 道 資 料
<p>(項目)</p> <p><b>明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金については、 40百万円の増額が認められ、要求額150百万円を満額確保することができた。</b></p>		
<p>(概要)</p> <p>明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金は、明日香村の歴史的風土の創造的活用により、学び、体験し、実感できる歴史文化学習の場としての整備を推進するため、明日香村が行う事業に対し、国と県が交付金により支援を行う事業である。</p> <p>平成12年度の制度創設以来、明日香村が行う史跡地環境整備や各種オーナー制度事業等に対して交付金による支援を実施してきたところ。</p> <p>今回の交付金増額により、広葉樹の植林による四季を感じられる里山の創出や、(仮称)景観指導員による環境美化の啓発活動などにより、明日香に相応しい景観形成に取り組むなど、明日香の歴史的風土の創造的活用を図っていく。</p>		
<p>(知事コメント)</p> <p>明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金については、財政事情が非常に厳しい中で、40百万円の増額が認められ、要求額150百万円を満額確保できたことは、大変喜ばしいことである。</p> <p>これは、明日香村が、国家基盤形成の地であるという、他に類例を見ない優れた価値を持った地域で、その歴史的風土を創造的に活用していこうとする国の強い姿勢の現れであり、ご尽力頂いた関係者の皆様に感謝申し上げます。</p> <p>県としては、今後も引き続き、国・明日香村と連携を図りながら、明日香村の歴史的風土の創造的活用を図るため、村の自主的・主体的な取組に対し支援して参りたい。</p>		

## 【上記に関する問い合わせ先】

- ・奈良県庁 (TEL) 0742-27-8480 (ダイヤルイン)
  - 担当者 地域振興部 地域づくり支援課 地域活性化グループ 課長補佐 梅野
- <問い合わせは、資料提供後1時間以内にお願ひします。>

No.	4	報 道 資 料
<p>(項目)</p> <p><b>平成22年度大滝ダム建設事業については、引き続き地すべり対策工事等の事業継続が認められた。</b></p>		
<p>(概要)</p> <p><b>大滝ダムは、吉野川流域の治水対策及び安定した水資源確保を目的とした多目的ダムである。本県にとって、治水、利水両面で必要不可欠のダムであり、事業の完全実施と早期の供用開始を強く国に要望してきたところ、今般、大滝ダム建設事業の継続が認められた。</b></p> <p><b>平成22年度予算案の詳細は明らかでないが、前年度に引き続き大滝・迫地区の地すべり対策工事を実施し、ダムの早期供用に向けて取り組むこととされている。</b></p> <p>(参考)</p> <p>平成21年度予算額：5,254百万円</p>		
<p>(知事コメント)</p> <p>大滝ダム建設事業については、政府による検討の結果、事業を継続するという判断をいただいたことに感謝申し上げます。</p> <p>県としては、大滝・迫地区の地すべり対策工事の実施にあたっては、関係住民の安全確保に万全を期すとともに、ダムの早期供用開始に向け、引き続き国・川上村と連携して事業推進に邁進してまいりたい。</p>		

## 【上記に関する問い合わせ先】

・奈良県庁

担当者 地域振興部資源調整課長 松丸 良 (TEL)0742-27-8489 (内 2540)  
 地域振興部資源調整課 課長補佐 村上 健 (TEL)0742-27-8489 (内 2548)  
 土木部河川課長 大塚 隆信 (TEL)0742-27-7507 (内 4173)  
 土木部河川課 課長補佐 中川 保 (TEL)0742-27-7507 (内 4170)

<問い合わせは、資料提供後 1時間以内 にお願ひします。>